

2025年度 一般勘定・介護勘定 決算

給与・賞与の増加により保険料収入が伸び、別途積立金を繰り入れることなく**実質収支は黒字の状況**

8月3日に開催された組合会において、全員一致で可決、承認されました。

一般勘定（健康保険）

実質収支 674百万円の黒字

※単位以下の四捨五入により総額と各項目の合計額が異なります。

収入総額

13,114
百万円

健康保険料 12,630百万円(96.3%)

健保組合の主な収入源は、みなさんと事業主から納めていただいた保険料です。
2025年度の保険料率は1000分の91.0でした。

調整保険料収入
183百万円(1.4%)

財政調整事業交付金
103百万円(0.8%)

その他収入
197百万円(1.5%)

事務費
102百万円(0.8%)

疾病予防のための各種健診・保健指導、体育奨励、
契約保養所・常備薬斡旋などにあてられます。

保健事業費
246百万円(2.0%)

財政調整事業拠出金
183百万円(1.5%)

支出総額

12,440
百万円

保険給付費 6,587百万円(53.0%)

みなさんが病気やケガをしたときにかかった
医療費等の支払いにあてられます。

納付金 5,317百万円(42.7%)

高齢者医療制度を支えるために、国に納めているもので、
健保組合の財政運営において大きな負担となっています。

連合会費
5百万円(0.0%)

● 支出を1人当たりでみると…

保険給付費
338,453円

納付金
273,189円

保健事業費
12,620円

その他
14,899円

決算の基礎数値（一般勘定）

被保険者数 19,463人
平均標準報酬月額 444,731円
総標準賞与額 37,575百万円



2025年度の決算は、別途積立金を繰り入れる
ことなく黒字となりました。

しかしながら、健保組合を取り巻く環境は、少子
高齢化や人口減少、医療費等の増加により、依然として厳しい
状況が続いており、**当健康保険組合においても、2026年度
は別途積立金を繰り入れる予算**となっています。
当健保組合では、健康増進や疾病予防のため、事業主と
連携したコラボヘルスを推進するとともに、人間ドックや巡回
健診などを通じて健康づくりをサポートしてまいります。
健康は一人ひとりの大切な財産です。健康への意識を高め、
病気やけがの予防に取り組み、いつまでも元気に働き、充実
した毎日を送りましょう。

介護勘定（介護保険）

実質収支 250百万円の黒字

健保組合では、40～64歳の本人
加入者から介護保険料を徴収し、
国に納めています。2025年度の
介護保険料率は1000分の17.6
(労使折半)でした。

収入総額
1,638
百万円

介護保険料
1,638百万円

支出総額
1,387
百万円

介護納付金
1,387百万円